

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 025	提案機関名 農業技術センター 横浜川崎地区事務所
要望問題名 ササバナンテンの実つき効果試験について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ササバナンテンは正月の縁起物として市場で需要の高い作物である。しかし実つきが悪いため生産者は苦勞している。 川崎地区の新しい特産品になると農家も期待しているため、ササバナンテンの実つきを良くする方法の確立をお願いしたい。 切枝栽培農家数、川崎市25戸。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部果樹花き研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	ご提案いただきましたササバナンテンは結実率が低いとされるナンテン類の中でも結実し難い種とされています。また理由といたしましては①開花時期が梅雨に当たり昆虫による受粉が不十分であるや②窒素過多及び灌水過多による栄養生長過多があげられていますが、明確な情報は無いのが現状です。めしべの成熟程度等基礎的な知見を積み上げる必要があると考えられますが、現在センターではササバナンテンを保有しておらず即時に試験を開始できる状況ではございません。栽培農家圃場での調査を続けていただくと共に他県の情報収集を続けさせていただきたいと思っております。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			